

# 第 249 回競技委員会議事録

1. 日 時：2017年10月4日（水）18時00分～20時00分

2. 会 場：連盟本部事務局

3. 出席委員：

競技委員会：委員総数 12、定足数 8、出席 12（内委任状 3）で成立。

寺本直志委員長、ロバート・ゲラー競技会事業担当業務執行理事

斉藤千鶴乃、山後秀幸、吉田正、横井大樹、

桜井雅子、正村祐一、仲村篤志

委任状：佐々部君敏、林伸之、西田奈津子、

オブザーバー：浅越ことみ、鈴木正人

4. 議事の経過及び結果：寺本直志委員長を議長に議事を逐一審議した。

第 1 号議案 セクショナルディレクターの承認

宮部 佳世子 193166 C-00915 東京都

推薦 田村 徹 81667 S-00069

第 2 号議案 コンベンション・アラートに関するワーキンググループからの報告

(1) 吉田グループ長よりワーキンググループの議事録の提出が文書であった。

(2) ダブルのアラートについて特殊なダブルのアラートについて議論したが切り分けが困難なため現実的ではないという結論になった。

(3) 2C オープンについてアラートだけすれば、かなりのハンドでオープンすることが可能な現行のルールを改め 3.5 クイックトリックに満たないハンドのオープンを禁止する意見の提案があった。現行のアラートさえすれば良いという制度でアラートされても実質的に対応できる訳ではないため何らかの制限が必要という趣旨。3.5 クイックトリックに満たなくてもゲームフォーシングでオープンしたいハンドはあるという意見があり、クイックトリックだけを基準にオープン自体を禁止することに否定的な意見があった。強いハンドの基準とアラートについてはワーキンググループでの継続審議とした。

(4) リレーシステムについて、現行のハンドブックの定義では判りにくく改善案の提出があった。現行表現について改善点以外の問題が指摘され、改めて検討することとした。

(5) ACBL でコンベンションチャート見直しが検討されている事について報告があった。

会議 30 分後に、横井大樹委員退出

第 3 号議案 競技会運営規則・試合要項に関するワーキンググループからの報告

(1) 山後グループ長よりワーキンググループの報告が口頭であった。

(2) ブリッジの規則 2017 年版に対応する管轄団体および主催団体としての規定について改定案の文書による報告があり承認の上、ルール委員会に報告することとした。

(3) 「ストップ」についての記述改定案の文書による報告があった、一部問題があったため事務局で書き直したうえで再度提出することとした。

(4) 高松宮記念杯のについては第 4 号議案。

第 4 号議案 高松宮記念杯の試合形式について

(1) 鈴木オブザーバーより 2017 年度の高松宮記念杯の試合形式について説明があった。

(2) フライト A が 30T 前後になるのは好ましくないことで合意した。

(3) 2018 年度以降のフライト分けを以下の通りとすることとした

・基本フライトチーム数は 16 チームとする

・フライト A には上位 SP8 チームとフライト A 希望チームその上で 16 チームに満たない場合は上位 SP のチームを割り当てる。

・フライト A には上位 SP8 チームとフライト A 希望チームで 16 チームを超えた場合は 32 チームまでそのチーム数で 5 日間の日程で行う。

- ・フライト A も下位フライトと同様、原則は 4 日間の日程で行い、3 日間+土曜日とする。
- ・チーム数はなるべく下位フライトで調整を行い 16 ～ 12 チームまでで変動させる。
- (4) フライト A に入りたくないチームがフライト A になるかフライト B になるか申込時にわからないので境目のチームが申込にくいという意見があった。フライト A のチーム数を原則 16 チームとするため今後その問題は起こりにくいということとなり特に対応しないこととした。
- (5) 日程について、現行の 3 連休を利用した日程は連休のうち 1 日はプレイしない日がほしい関東の主婦勢に厳しいので 2 週末を利用した日程にしてはどうかという意見があった。朝日新聞社杯は 3 連休を利用して参加者が増えたという意見があったが、2,3 日目が確定していないので参加するため 6 人チームにすると出番が難しい意見があった。出番の問題は KO 戦の宿命のため仕方なく、3 連休を利用しないと実質的に地方からの参加者に不便が生じるため現行通り 3 連休+1 日で運営することとした。

#### 第 6 号議案 その他議案

- (1) マスターポイント改定の会報記事はメールで回覧で確認をとった。会議に改めて文書での提出があった。
- (2) ゲラー委員より ACBL における「ストップ」について報告があり、意見交換を行った。
- (3) 事務局より WBF 主催のディレクター講習会が 11 月にインドネシアと、中国であることについて報告があり、意見交換を行った。
- (4) 2017 年 10 月までに起きた 1 件の上告について意見交換を行った。

次回競技委員会は 2017 年 12 月 4 日（水）18 時 00 分からの開催を予定する。

次々回競技委員会は 2018 年 1 月 10 日（水）18 時 00 分からの開催を予定する。

以 上